

平成29年度 第1回秋田県立図書館協議会（要旨）

- 1 日 時 平成29年8月30日（水）午後1時30分～午後3時10分
- 2 場 所 秋田県立図書館 3階 多目的ホール
- 3 出席者
- 委 員 泉委員、佐藤(好)委員、関委員、時田委員、富岡委員、茂木委員
- 事務局 教育庁生涯学習課 社会教育・読書推進班 成田副主任
- 図書館 高橋館長、吉田副館長、京極副館長、工藤総務班長、  
中山企画広報班長、福田図書資料班長、嵯峨情報班長、  
菅原サービス班長

4 議事概要

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 事務局職員紹介
- (4) 図書館長あいさつ
- (5) 報告

（発言者：■委員 □事務局）

①平成29年度秋田県立図書館事業について〔資料により説明：高橋館長〕

■ 「打って出る図書館」のパンフレットに沿革が載っており、「わが国最初の巡回文庫を開設」とある。秋田県立図書館は国内で初めて郡部の人へ本を届けるサービスを行った大変誇らしい図書館である。

県立図書館は館長説明のとおり、市町村図書館に対して、出前研修や訪問活動を通じて指導・助言を行っている機関である。

②図書館評価アンケートの結果について〔資料により説明：吉田副館長〕

■ 図書館アンケートは組織的、計画的、継続的に取り組まれて良くまとめられたと感服している。PDCAサイクルのマネジメントに沿って良く行われている。

沢山の人が来館されていること、特に60歳以上の人では、終日や半日過ごされている方が多い事に感心した。非常に個人的な視点からの回答もあるが、公共施設の図書館と民間サービスとは違うため、棲み分けして捉えることで良いと思う。

マナーの悪い人が居るとのことだが、どのような人なのか。

□ 夏休み期間は児童・生徒の利用が一番多く、普段よりも賑やかになる。会話の声が大きかったりすることもあり、普段の時期よりも耳に届きやすくなっているかもしれない。カウンターでのご指摘もあった。

□ 座席の場所取りをして、しばらく席に戻らない人に注意して欲しいとか、

駐車場マナーへの意見も多い。児童・生徒の声は気にする程の大きさでは無く、静かな方であると思う。図書館に学習室が無いことを残念に思う。利用する小・中学生はマナーを良く守っている。

■ 市町村図書館の話であるが、子どもを連れて図書館へ行くのは気が退けると声があった。秋田市立図書館や県立図書館では、他の利用者から冷たい目で見られる事はない。県立図書館が先になり、子ども達がもっと利用しやすいような環境が、地域の利用者にも浸透していくと良いと思う。

□ 夏休み期間中には子ども達へ席を譲る利用者がいて、とても有り難かった。そのような利用者が増えてくれれば良いと思う。

■ 図書館が行っている読書推進への取り組みが、このアンケートの高い満足度に表れていることを嬉しく思う。ただ、利用者が減少しているようだが、この点はどのように考えているのか。

□ 夏休み期間中では一日に平均1,800程度の利用者があり、1ヶ月のうち休館日が2日あると、すぐに3千人程度の減少となる。開館日数にもよるが、人口減少の影響もあるのかもしれない。色々なサービスの充実によって人を呼び込んでいきたい。

■ 明德館のように学習室を開放することはないのか。

□ 図書館ではスペースは無く、生涯学習センターの空室を紹介している。しかし、利用者はそれほど多くはないようである。

■ ボランティアとして関わっているが、続きの巻が抜けていたり、例えば、旅行関係の本など古くなっているものがあり、どうにかならないかなと思う。

他のボランティアの皆さんは、本の知識が多く、もっとお手伝いをしたいという気持ちもある。出来ることがあれば遠慮なく言って欲しい。

また、学生と一般利用者を分けて利用できるようにした方が良い。喫茶コーナーの設置を含め、一階フロアをもっと有効に利用できないものか。

□ 他県の図書館では飲食スペースが非常に充実している。当館2階の談話コーナーを新聞コーナーとし、1階を飲食スペースとすべきか考えている。しかし、飲食サービスの提供には、水道関係設備や保健所の許可手続き、また、引き受けてくれる業者がいるのかが課題である。

■ アンケート結果では図書館利用者のモラルについての記述があったが、図書館と利用者の交流を通して、モラルの向上に努めるのはどうか。

アンケートについては、各項目においても年齢層ごとの分析があると良い。

学校図書館があるためか、若者の利用が少ないようだが、小・中学生向けのパンフレットは作成していないのか。

□ 小・中学生向けのパンフレットは作成してはいない。モラルの件はごく一部の利用者の使い方によって、県民の財産に損害を与えられている事実を提

示できればと思う。今後、アンケート調査を実施する際には、年齢層ごとの分析も行う方向で考えたい。

- 図書館は本を読む場所ではあるが、利用者にとっては、仕事場であり娯楽施設でもある。最近の図書館には、多様な機能を持つ施設としての充実が求められているのではないかと。県立図書館は市町村図書館とは違うが、施設の充実を念頭に置きながら、利用者に親しまれる図書館となって欲しい。

## (6) 協議

(発言者：■委員 □事務局)

### ①秋田県立図書館への要望・提言等について

- アンケートでコンピュータ検索の操作が不便という声があったが、どのような点が不便とされているのか。他の図書館では検索の仕方が違うのか。
- 検索の際に一文字違うだけで検索できないことがある。どの言葉で検索すべきか、本を読み慣れた人でないと分かりづらい事があるかもしれない。窓口でレファレンスする職員のレベルも上げていく必要があると感じている。
- 延滞時の督促をメールで行うサービスはしていないのか。また、SNS等で広報の発信を行っているものか。
- メールでの督促は行っていない。早く返却しなくてはいけないという意識を持ってもらうためにも、職員が直接電話で督促している。広報発信はホームページとブログで行っている。
- 駐車場マナーの悪い例にはどのようなものがあるか
- 図書館の利用者ではないのに、駐車場に車を停める人がいる。駐車場には色々な要望があるが、80台も駐車できる図書館は他県に無いと思う。共同駐車場の利用も勧めている。
- 初めての人には難しいと思うが、本を検索後、表示された番号の見方がわからない人もいる。図書館に検索専門の職員が配置されると良いと思う。
- 総合案内の人を配置できる体制としたいが人手不足である。詳しいボランティアの方がいれば、お力をお借りしたいと思っている。
- 病院では受け付けや案内をしてくれる方がいる。我々ボランティアは、本の中身のことになると分からない部分もある。他のところでも力になればと思っているので是非声を掛けて欲しい。
- 探している本が分からない時はカウンターで聞くことが一番だと思う。蔵書検索については機能の問題ではなく、検索方法の問題だろうと思う。
- 雑誌は新しい情報が大切で、早く次の人が借りたいと思っているはずであるのに、その貸出期間を22日以内へと変更して欲しいというような、我が

儘な意見に惑わされないようにして欲しい。

子ども達のマナーに対しては、お互い嫌な気持ちにならないように、さりげなく注意をしている。

夏休み中、えほんのへやに子ども読書アドバイザーが付いてくれた。専門的な方が身近に居るのはとても有り難いことであった。

■ 地理や観光関係の本が古いと参考にならない。本は何年毎に入れ替るとか基準があるのか。

□ 何年で更新という基準は無い。予算面から常に新しいものに入れ替えることは難しい。

(7) その他

(8) 閉会